令和３年度決算に係る

定　期　監　査　資　料

令和４年５月

むきばんだ史跡公園

目　　次

１　前年度指摘事項等に対する措置等 …… １頁
(1)　指摘事項
(2)　監査意見
２　前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況 …… １頁
３　職員の定員、現員調べ …… １頁
４　役付職員の調べ …… １頁
５　主な事業に関する調べ …… ２頁
６　現金の取扱状況 …… ７頁
(1)　現金取扱状況
(2)　つり銭の状況
７　財産に関する調べ …… ７頁
(1)　公有財産
(2)　金券類の保有状況
８　財産の貸付け及び使用許可調べ …… ９頁
(1)　土地及び建物
(2)　物品
９　借受不動産明細調べ …… ９頁
１０　職員駐車場の管理状況調べ …… ９頁
(1)　管理状況
(2)　減免の考え方
(3)　使用料の見直し
１１　寄附物件の受納状況調べ …… １０頁
１２　備品の処分状況調べ …… １０頁
１３　史跡情報の発信 …… １０頁
１４　見学者数 …… １１頁

○　意見、要望等 …… １１頁

1　前年度指摘事項等に対する措置等

（1）指摘事項
該当なし

（2）監査意見
該当なし

2　前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3　職員の定員、現員調べ

（令和４年４月１日現在）

区分＼種別	事務職員		技術職員		現業職員		合　計		備　考
	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	
定　員	7	7					7	7	
現　員	（　） 7	（　） 7	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
過不足(△)	0	0					0	0	
臨時的任用職員	0	0					0	0	
会計年度任用職員	0	0	3	3			3	3	活用補助員２人 史跡管理補助員１人

4　役付職員の調べ

（令和４年５月１日現在）

職　名	氏　名	在職期間 年	在職期間 月	備　考
所長	竹内　友徳	2	1	
次長	（兼） 内田　匡俊	0	1	文化財局とっとり弥生の王国推進課課長補佐
係長	本池　優子	3	1	出　納　員

5　主な事業に関する調べ

（単位：千円）

事　業　名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起　債	その他	一般財源
「とっとり弥生の王国」知・楽・学事業（むきばんだ史跡公園分）	６，３３１	１，３１６			５，０１５

将来ビジョン	
令和新時代創生戦略	大項目　　中項目　　小項目 ＳＤＧｓゴール（08 働きがいも経済成長も）
政策項目	

（概　要）

ア　目的及び事業の実施状況

（ア）目的

鳥取県が全国に誇る「妻木晩田遺跡」「青谷上寺地遺跡」の価値と魅力を多くの方に知っていただくため、両遺跡を「とっとり弥生の王国」として一体的に情報発信するとともに、イベントやものづくり講座、シンポジウム、遺跡を活用した様々な体験活動等の事業を行う。

（イ）事業の実施状況

細事業名	主な内容	概要
【知】 （知る）	○GW は、むきばんだ日和	・5/1～2 中止
	○星空観察会	・11/3 中止
	○古代と自然探検隊、なりきり弥生人生活 ※妻木晩田遺跡活用実行委員会との共催事業	・探検隊は 7/17～8/29 に「古代と自然探検ラリー」として実施。参加者 301 名 ・なりきり弥生人生活は中止。
	○弥生の森講座 ・（夏）弥生の道具と樹木利用 ・（秋）むきばんだの森観察会	・7/22→11/3 延期　参加者 14 名 ・10/16 開催　参加者 17 名
	○満喫むきばんだ ・秋のライトアップむきばんだ ・満喫ノルディック・ウォーク ・ドキ土器むきばんだ	・11/13-14　来場者 496 名 ・11/23　　参加者 81 名 ・中止
	○動画配信 ・むきばんだ PV（発掘調査動画） ・お気楽♪弥生気分！（古代体験紹介動画） ・漫画動画	・１本公開 ・２本公開 ・１本公開
	○妻木晩田遺跡への教育旅行誘致 ・校外学習 ・修学旅行 ・出前授業	・校外学習等（小学校 6 校 250 名、中学校 3 校 327 名、高校 9 校 126 名、大学等 2 団体 32 名） ・修学旅行（小学校 63 校 2,629 名、中学校 3 校 213 名、高校 1 校 47 名）。 ・出前授業（小学校 4 校 170 名、高校 5 校 43 名）
	○県外イベントへの参加による情報発信	・中止
	○商業施設等での巡回展示	・中止
	○漫画学習資料作成	・3,000 部
【楽】 （楽しむ）	○むきばんだジュニアファンクラブ	・４回開催、参加者のべ 40 名
	○むきばんだ女子考古部	・２回開催、参加者のべ７名
	○弥生のものづくり講座 ・入門編：ガラス勾玉づくり	・3/25 動画配信開始

【学】 （学ぶ）	○とっとり弥生の王国むきばんだ遺跡土曜講座	・５回開催、参加者 107 名 （うち２回はオンラインのみ）
	○弥生のものづくり講座（上級編） ・弥生土器づくり、野焼き	・7/17・18 土器づくり ・10/2・3 土器野焼き 参加者のべ 15 名
	○企画展示 ・むきばんだムラの「食」事情 ・遺跡からわかる弥生時代のくらし	・8/1～11/28 ・12/1～2/27
	○遺跡活用調査研究事業	・弥生土器づくり

イ　令和３年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・新型コロナウイルス感染症への対応から、イベント・講座等は当初計画からの大幅な変更を余儀なくされたが、分散開催や運営方法の見直しなど最大限の感染症対策を講じて可能な限り実施した。

・感染症対策を講じても開催が困難なイベント・講座等についても、できるだけオンラインや動画配信形式に変更して実施した。

・年間イベントのポスター・チラシを作成したのをはじめ、「星空観察会」や「満喫むきばんだ」の事業を「むきばんだフェスタ」（「とっとり弥生の王国」プロモーション推進事業）と一体的に情報発信するなど、広報の効率化を図った。

ウ　成果及び効果

・「満喫むきばんだ」のライトアップについてSNS広告で情報発信したところ、アンケート回答者（103名）の54%が初めての来園であり、ライトアップが来園を促すきっかけとなった。

・むきばんだ史跡公園のYouTube公式チャンネルの動画を充実させ、プロモーション動画のほか、古代体験「お気軽♪弥生気分！」、弥生のものづくり講座、発掘調査の様子を紹介する動画などを配信した。特に、発掘調査動画は反響が大きく、２ヶ月で４万件を超える閲覧があった。

・学校等への働きかけを強化した結果、修学旅行や校外学習等の学校利用が大幅に増加した。

・文化財を活用した「ふるさとキャリア教育」の一環として、妻木晩田遺跡を教材として小学６年社会の出前授業を行った。児童へのアンケートでは、歴史が好きになったという感想や「有名な遺跡が地元にあってうれしい」など地元への愛着が深まったという感想が多く見られた。

エ　課　題

・これまで史跡公園に興味がなかった方へ訴求するため、SNS広告等の成果を踏まえ、イベント・講座の内容や情報発信の方法をさらに精査する必要がある。

・コロナ禍収束後に県内外からの集客をはかるため、調査研究の成果を活かして全国に広く情報発信するとともに、青谷上寺地遺跡との連携を強化して両遺跡を一つのパッケージとする観光資源として磨き上げる必要がある。

・地域の住民に史跡の重要性を知っていただき、史跡の活用に積極的に関わっていただける仕組み作りを進める必要がある。

（単位：千円）

事　業　名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起　債	その他	一般財源
「鳥取弥生の王国」プロモーション推進事業（むきばんだ史跡公園分）	３，１１１	１，１１３			１，９９８
将来ビジョン					
令和新時代創生戦略	大項目　中項目　小項目 ＳＤＧｓゴール（08 働きがいも経済成長も）				
政策項目					

（概　要）

ア　目的及び事業の実施状況

（ア）目的

県内外からの鳥取県への集客をはかるための取り組みとして、調査研究の成果を活かし、全国に「とっとり弥生の王国」の情報を広く発信し、妻木晩田遺跡を中心とした淀江地域と青谷上寺地遺跡を中心とした青谷地域を一つのパッケージとする観光資源として磨き上げることを目的とする。

（イ）事業の実施状況

細事業名	主な内容	備考
AR技術を活用した情報発信（とっとり弥生の王国プロモート事業）	○とっとり弥生の王国プロモーション動画制作 ・ライトアップむきばんだ動画 ○とっとり弥生の王国AR制作 ・映像コンテンツ（まつり再現） ・映像コンテンツ（鉄器製作） ・映像コンテンツ（ドローン） ・VRコンテンツ（360度写真）	 ・12/5公開 ・3/25公開 ・3/25公開 ・3/25公開 ・3/25公開
青谷上寺地遺跡とむきばんだ史跡公園にまつわる集客イベント（とっとり弥生の王国フェスタ事業）	○むきばんだフェスタ 内容：古代体験イベント「トリドリむきばんだ」を核に「とっとり弥生の王国　知・楽・学事業」のイベントも一体的に広報するとともに、「御金印ツアー」とも連携して実施。 会場：むきばんだ史跡公園	・トリドリむきばんだ 11/6-7　871名

イ　令和３年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・コロナ禍で人数制限が必要となったため、フェスタ事業は日程を分散することになったが、「フェスタ」として広く情報発信するため、複数のイベントを一体的に広報した。

ウ　成果及び効果

・ライトアップの動画を公開することによって、むきばんだ史跡公園の新たな魅力を情報発信することができた。

・フリーWi-Fiが使用できる展示室でARコンテンツが利用できるようになり、弥生の暮らしをイメージしやすくなった。

エ　課　題

・ARコンテンツの利用数が増えるように、さらに情報発信する必要がある。

・withコロナにおける大規模集客イベントの実施方法について、検討する必要がある。

（単位：千円）

事　業　名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起　債	その他	一般財源
妻木晩田遺跡調査整備事業（保存整備）	１４，６６７	３，６７８			１０，９８９
将来ビジョン					
令和新時代創生戦略	大項目　　中項目　　小項目 ＳＤＧｓゴール　11　住み続けられるまちづくりを				
政策項目					

（概　要）

ア　目的及び事業の実施状況

（ア）目的

・遺構の保護及び公開・活用のための環境整備を行う。

（イ）事業の実施状況

・一部未整備となっている仙谷地区の基本設計を実施した。
・経年劣化による腐朽等が顕著な高床倉庫（妻木山地区）の屋根の葺き替えを行った。
・山からの落石が史跡公園進入路へ入ることを防ぐため、落石防護柵を設置した。

イ　令和３年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・特になし。

ウ　成果及び効果

・一部未整備となっている仙谷地区の基本設計を実施し、整備の方向付けを行うことができた。
・経年劣化のため、柱が干割れし、地中部分が腐食しているほか、壁板がずれ、茅葺屋根が腐食している状態であったため、柱材、壁板、屋根の全面葺き替え等を実施した。この再整備工事によって建物が健全となり、より安全に見学できるようになった。
・経年劣化によって屋根材に使用している茅の脱落が顕著となり、雨漏りにつながる恐れがあったため、屋根の全面葺き替えを実施した。この葺き替えによって、雨漏りの心配がなくなった。
・落石による来園者へのリスク（車の損傷等）があったため、落石防護柵の設置を行った。この設置により来園者へのリスクが軽減した。

エ　課　題

・仙谷地区の整備については、令和４年度に実施設計及び景観整備、令和５年度から７年度にかけて整備を実施していく。
・劣化の認められる掘立柱建物が残っているため、計画的に屋根葺替えを行い、健全な状態にして、引き続き来園者が安全に安心して見学できる状態にするよう取り組んでいく。

（単位：千円）

事　業　名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起　債	その他	一般財源
妻木晩田遺跡調査整備事業 （発掘調査）	１９，２９５	９，１３２			１０，１６３

将来ビジョン	
令和新時代創生戦略	大項目　　中項目　　小項目 ＳＤＧｓゴール　11　住み続けられるまちづくりを
政策項目	

（概　要）

ア　目的及び事業の実施状況

（ア）目的

・妻木晩田遺跡の集落像を明らかにする。

（イ）事業の実施状況

・仙谷１号墓の発掘調査（第 37 次発掘調査）、妻木新山地区２区北斜面の発掘調査（第 38 次発掘調査）、松尾頭地区の機械ボーリング調査の実施。

・『妻木晩田遺跡発掘調査研究年報 2021』の作成。

イ　令和３年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・特になし。

ウ　成果及び効果

・令和３年度から実施している仙谷地区の整備に必要な情報を得るため、仙谷１号墓の発掘調査（第 37 次発掘調査）を実施した。その結果、墳丘の正確な規模、貼石の状況、未確認であった北西突出部の状況などの情報を得ることができ、整備を行っていく上で重要な情報を得ることができた。

・「発掘調査年次計画　長期計画第Ⅲ期　出現期～展開期における集落像の解明（Ｒ１～Ｒ７）」に基づき、谷・斜面部における土地利用状況の解明を目的とした妻木新山地区２区北側斜面の発掘調査（第 38 次発掘調査）、松尾頭地区の機械ボーリング調査を実施した。第 38 次発掘調査では、妻木新山地区では、南側斜面に比べ北側斜面では土地利用が低調であった可能性があるほか、機械ボーリング調査では、松尾頭地区の谷に弥生時代の地層が厚く堆積している可能性があることが明らかとなった。

・この他、『妻木晩田遺跡調査研究年報 2021』を刊行し、妻木新山２区丘陵斜面部における居住域の広がりや土地利用などに係る最新の調査研究成果を発信した。

エ　課　題

・第 38 次発掘調査では、２本のトレンチを調査したに過ぎず、断片的な情報しか得られていないため、引き続き妻木新山地区の調査を行い、土地利用状況の検証を行っていく必要がある。

・過去の調査研究成果の整理と課題抽出、今後の史跡の整備や活用計画を踏まえた中長期的な発掘調査計画を立案する必要がある。

6　現金の取扱状況

（1）現金取扱状況

該当なし

（2）つり銭の状況

該当なし

7　財産に関する調べ

（1）公有財産

ア　土　地

（令和４年３月３１日現在）

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積（㎡）	価額（円）	増減別	異動日	面積（㎡）	価額（円）	増減理由	登記年月日	面積（㎡）	価額（円）	
行政財産			1,491,657.00	不明							1,491,657.00	不明	
	（内訳）				増加	R				R			
					減少	R				R			
計			1,491,657.00	不明							1,491,657.00	不明	

イ　建　物

（令和４年３月３１日現在）

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積（㎡）	価額（円）	増減別	異動日	面積（㎡）	価額（円）	増減理由	登記年月日	面積（㎡）	価額（円）	
行政財産			2,028.14	518,655,990							2,028.14	518,655,990	
	（内訳）				増加	R				R			
					減少	R				R			
計			2,028.14	518,655,990							2,028.14	518,655,990	

ウ　山　林

（令和４年３月３１日現在）

行政・普通財産の区分	土地の権利区分	機関名又は施設名等	所在地	土地の面積等							立木の推定蓄積量			備考
				前年度末面積（㎡）	本年度の異動状況					本年度末面積（㎡）	前年度末現在高（㎥）	本年度中増減高（㎥）	本年度末現在高（㎥）	
					増減別	異動日	面積（㎡）	増減理由	登記年月日					
行政財産	県有	むきばんだ史跡公園	西伯郡大山町妻木 米子市淀江町福岡外		増加	R			R		20,541.65	0.00	20,541.65	
					減少	R			R					
計											20,541.65	0.00	20,541.65	
合計											20,541.65	0.00	20,541.65	

エ　動　産（船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機）

該当なし

オ　物　権

該当なし

カ　無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

（ア）　異動状況

（令和４年３月３１日現在）

区分	前年度末	本　年　度　中		本年度末	備　　考
		増	減		
商標権	件 2	件 0	件 0	件 2	

（イ）出願及び登録の状況

（令和４年３月３１日現在）

区分	名称			出願日	登録日	活用の有無
商標権	図形（妻木晩田遺跡シンボルマーク） 第4580197号（第16類）			H13.8.8	H14.6.28	無
商標権	図形（妻木晩田遺跡シンボルマーク） 第4609151号（第41類）			H13.8.8	H14.10.4	無
出願中	０件	登録済	２件			

（ウ）活用の状況

該当なし

キ　有価証券

該当なし

（２）　金券類の保有状況

ア　金券の保有状況

有　・　(無)

イ　タクシーチケットの保有状況

該当なし

8　財産の貸付け及び使用許可調べ

（1）　土地及び建物

ア　土　　地

（令和４年３月３１日現在）

行政・普通財産の区分	貸付（使用許可）目的	所在地	数量又は面積	貸付（使用許可）年月日	当初貸付（使用許可）年月日	貸付（使用許可）期間	貸付（使用）料（円） 単価	貸付（使用）料（円） 本年度の貸付（使用）料	貸付（使用許可）先 住所 氏名	備考
行政財産	電気通信設備設置	西伯郡大山町長田	支柱・支線等9本	R3.1.26	H12.12.18	R3.4.1 ～R8.3.31	月額・年額	0	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話（株）鳥取支店	文書ID：20-00256276
	電気通信設備設置	米子市淀江町福岡 西伯郡大山町長田	本柱・支線等12本	R3.2.17	H12.3.24	R3.4.1 ～R8.3.31	月額・年額	1,210	米子市加茂町2-51 中国電力ネットワーク（株）米子ネットワークセンター	文書ID：20-00280126
計								1,210		
合計								1,210		

イ　建　　物

（令和４年３月３１日現在）

行政・普通財産の区分	貸付（使用許可）目的	所在地	数量又は面積	貸付（使用許可）年月日	当初貸付（使用許可）年月日	貸付（使用許可）期間	貸付（使用）料（円） 単価	貸付（使用）料（円） 本年度の貸付（使用）料	貸付（使用許可）先 住所 氏名	備考
行政財産	携帯電話サービス用整備機器	西伯郡大山町妻木1115－4	ｱﾝﾃﾅ1、P-BOX1、装置1式	R3.11.30	R3.11.30	R4.1.1 ～R5.3.31	月額 270 年額1,500	1,560	広島市中区大手町4-1-8 (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ中国支社	文書ID：21-00208748
計								1,560		
合計								1,560		

（2）　物品

該当なし

9　借受不動産明細調べ

該当なし

10　職員駐車場の管理状況調べ

（1）管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積（㎡）	貸付（使用）料（月額）（円）
行政財産	西伯郡大山町妻木１１１５－４	12.5	1,000

（2）減免の考え方

勤務地が地理的に不便な場所にあり、公共交通機関を利用した場合、勤務地の最寄り駅・バス停から勤務先までの距離が遠く、始業時間に間に合わない、かつ、公共交通機関での退庁が困難であるため。（10/10減免。直近の最寄り駅まで５ｋｍ以上離れており、米子市巡回バスも１日３便のみで日曜、祝日、冬季は運行しない。）

（3）使用料の見直し

令和２年10月13日実施

１１　寄附物件の受納状況調べ
該当なし

１２　備品の処分状況調べ
該当なし

１３　史跡情報の発信
（１）普及資料の発行
ア　図書

（単位：部）

名　　称	内　容　等	発行部数		備　考
		無償配布	有償配布	
甦る弥生の国邑　妻木晩田遺跡（三訂版）	遺跡紹介冊子	300	200	
妻木晩田遺跡発掘調査研究年報２０２１	令和３年度発掘調査概要報告及び分析結果等の調査研究報告	400	20	

イ　パンフレット

（単位：部）

名　　称	部　数	配布先等
むきばんだ史跡公園学習漫画資料	3,000	校外学習・修学旅行等による来園者（児童・生徒・引率者等）

（２）出前授業の実施状況

機関名（所在市町村名）	内　　容
大山町立名和小学校（大山町）	６年生社会「歴史学習の基本をおさえよう」（文化財を活用した「ふるさとキャリア教育」）
大山町立中山小学校（大山町）	６年生社会「むらからくにへ」（文化財を活用した「ふるさとキャリア教育」）
米子市立淀江小学校（米子市）	６年生社会「むらからくにへ」（文化財を活用した「ふるさとキャリア教育」）
大山町立大山小学校（大山町）	６年生社会「むらからくにへ」（文化財を活用した「ふるさとキャリア教育」）
鳥取県立米子高等学校（米子市）	発展日本史「土器づくり」
鳥取県立米子高等学校（米子市）	考現学「弥生時代について」
鳥取県立米子高等学校（米子市）	考現学「土器づくり・石包丁づくり」
鳥取県立米子高等学校（米子市）	考現学「土器炊飯」
鳥取県立米子高等学校（米子市）	発展日本史「勾玉づくり」

（３）出土品、写真、活用資料の貸出状況

貸出先名称（所在市町村名）	貸　出　物
株式会社日の丸観光トラベル米子営業所（米子市）	写真（妻木山地区弥生のムラ竪穴住居）
北栄町教育委員会生涯学習課（北栄町）	写真（弥生のムラ、竪穴住居と高床倉庫、住居内部等）
米子市立弓ヶ浜小学校（米子市）	火おこし道具
米子市立成美小学校（米子市）	石包丁づくり道具
米子市淀江振興課（米子市）	写真（妻木晩田遺跡遠景空撮）
ロイヤルホテル大山（伯耆町）	写真（土屋根竪穴住居、勾玉づくり作品見本、体験イメージ写真等）

キャラバン（大阪市）	写真（洞ノ原地区西側丘陵遠景、竪穴住居、出土土器）、遺跡マップ画像
株式会社グレイル（東京都渋谷区）	写真（洞ノ原地区西側丘陵遠景、洞ノ原墳丘墓群）
株式会社エイチ・アイ・エス（大阪市）	写真（妻木山地区空撮、妻木山地区高床倉庫、洞ノ原地区土屋根竪穴住居）
個人（群馬県草津町）	写真（洞ノ原地区西側丘陵遠景、土屋根竪穴住居）
尼崎市教育委員会（兵庫県尼崎市）	写真（整備関連 18 点、土屋根竪穴住居）
荒神谷博物館（島根県出雲市）	写真（ガラス玉集合、ガラス玉拡大）
米子市立成美小学校（米子市）	勾玉づくり道具
有限会社海鳥社（福岡市）	妻木晩田遺跡変遷図
仁慈保幼園（米子市）	火おこし道具

１４　見学者数

（令和４年３月 31 日現在）（単位：人、校、件）

個　人	団　　体		
15,123 人	団体のうち学校の利用（小 学 校）	73 校	（ 3,049 人）
	（中 学 校）	7 校	（ 542 人）
	（高等学校）	15 校	（ 216 人）
	学校除く各種団体の利用	47 件	（ 758 人）
		合　計	（ 4,565）人

○　意見、要望等

（１）業務に関する意見・要望等

特になし

（２）監査委員事務局に対する要望等

特になし